

テーマ:世代間交流 / 対象:地域住民 / 主催:栗生公民館

9-①

親と子の地域で過ごすサマーバケーション

地域を学ぶ	—	地域でつながる	●	地域に還す	—
-------	---	---------	---	-------	---

1 学習プログラムの展開

日程	場所	学習内容
平成 30 年 8 月 18 日(土) 13:30～	栗生公民館	<p>○子供マナー教室等で学んでいる子供の学習成果の発表の場として、地域住民を招いて発表会を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ、ブラスバンド等のコンサートの開催 ・「子供マナー教室 (お茶)」(子供の「お茶席」を開き、来場者をおもてなし) ・「子供マナー教室 (お花)」「手作り絵本教室」「子供陶芸教室」(作品展示) <p>○地元の小中学生だけでなく、地元から他市へ進学した高校生や大学生も凱旋して発表。成長した姿を地元で披露する機会とする。</p>



対象	公民館区内の住民
経費	お茶券の販売：200 円×150 枚=30,000 円→お茶・おかし代 (実行委員会方式) (絵本教室 講師謝金 5,760 円, 陶芸教室 講師謝金 5,760 円, お花教室 講師謝金 5,760 円)
連携先	栗生小学校, 府中第一中学校

問合せ先

府中市栗生公民館

府中市栗柄町 3096-1

電話 0847-45-3701

ファクシミリ 0847-45-3701

2 講座設定の理由（学習の目的）



- 高齢化が進む地域を活性化させるため、地域の子供たちやその保護者をはじめ、地域の高齢者等、幅広い年齢層が集い交流する場を設定する。
- 昔と生活スタイルが変化してきている中、日本の伝統文化に触れる機会を増やす等子供の生活体験を充実させる。

3 学習目標



- 公民館と学校（コミュニティ・スクール）の連携のもとで、幅広い年齢層が集う機会を提供し、地域を活性化させる。
- 様々な体験活動や学習成果の発表の場の提供を通じて、地域の子供たちの健やかな育ちを応援する。
- 地元を離れた若者の参加を促し、ふるさとを愛する心を育む。

4 事前に必要な知識や準備物



- 小・中学校との連携
- 主催教室との連携
- 楽器の搬入等

5 留意点



- 継続的な実施に向けて、参加者が減らないように声を掛けていく。
- 中学校のブラスバンド部の発表では、引率の先生に指示を出すように役割を分担しておく。

6 成果



- 子供を通して保護者や地域の方とのつながりが広がった。
- 事前打合せや準備などを通して、公民館に来館しない若年層の保護者の公民館利用が促進された。
- 卒業生も継続して公民館へ協力するようになり、現教室の子供たちも将来同じように取り組んでもらえるような流れを作ることができた。
- 中学生が会場のそうじをして帰る等、参加意識が変化してきており、小学生へのよい手本となっている。

7 課題



- 年々若い保護者が多くなり、主催者の意図を伝えることが難しくなっている。
- 取組が始まって14年目になるが、一時期参加者が減少し、存続の危機にあった。10回を目標に取組を続け、少しずつ持ち直して今に至っている。

8 今後に向けて



- 中学2年生（反抗期）と小学生との関わりを増やすことで相手を思う気持ちやコミュニケーション能力の育成を図っていきたい。
- ブラスバンド部以外の部活にも声を掛けて取組を広げていきたい。（美術部からの出展等）